第３講　大和時代Ⅱ

1　飛鳥時代―中央集権国家の確立―

①聖徳太子〔厩戸皇子〕の政治―中央集権国家の準備―

A　**聖徳太子**の政治改革⇒蘇我馬子との二頭政治

593年　**聖徳太子**，叔母にあたる**推古天皇の摂政・皇太子となる。**

594年　仏教興隆の詔

603年　**冠位十二階の制**⇒徳・仁・礼・信・義・智を大小に分ける

☆**身分にとらわれない人材登用と，世襲制の打破が目的。**

604年　**憲法十七条⇒わが国初の成文法**

☆**豪族に対し，朝廷の官人としての政治的・道徳的訓戒を示す**

607年　斑鳩寺〔法隆寺〕の建立

620年　『**天皇記**』『**国記**』の編纂⇒蘇我馬子と共同で国史を編纂

B　**遣隋使の派遣⇒隋との対等外交をめざす**

589年　北朝の**隋**が南北朝を統一

598年　隋が高句麗征討を開始

600年　聖徳太子が新羅征討を計画（602年にも）

『**隋書**』**倭国伝**による第一回遣隋使

607年　**遣隋使**として**小野妹子**を派遣⇒『日本書紀』にも記述あり

☆**２代皇帝煬帝**，答礼使として**裴世清**を倭に派遣。

608年　小野妹子再派遣

☆**高向玄理・旻・南淵請安**らが留学生・学問僧として同行。

614年　遣隋使として**犬上御田鍬**らを派遣

☆これが隋へは最後の派遣となった。

②大化改新(たいかのかいしん)―中央集権国家の理想―

A　改新政治の背景

あ　東アジア情勢

644年，国家体制を整えた**唐**(とう)（618年成立）が高句麗(こうくり)征討を開始，周辺諸国に緊張が走り，中央集権の確立と国内統一の必要にせまられた。

☆倭は**630年，第一回遣唐使**として**犬上御田鍬を派遣**（舒明(じょめい)天皇）。

い　国内情勢

舒明天皇に続きその妻を**皇極天皇**(こうぎょく)として擁立(ようりつ)した**蘇我蝦夷**(えみし)**・入鹿**(いるか)父子が強大な権力を握(にぎ)り，**山背大兄王**(やましろのおおえのおう)**（聖徳太子の子）**を斑鳩宮(いかるがのみや)に滅ぼして古人大兄皇子(ふるひとのおおえ)を擁立（643年）。

B　**大化改新**

あ　**乙巳(いっし)の変（645年）**

中大兄皇子(なかのおおえ)**･中臣鎌足**(なかとみのかまたり)ら，飛鳥板蓋宮(あすかいたぶきのみや)で**蘇我入鹿を殺害**（蝦夷は自害）。

☆皇極天皇にかわり弟の軽(かる)皇子が**孝徳天皇**として即位，**年号〔元号〕**を**大化**と定め，大王宮を飛鳥から**難波**(なにわ)（のち長柄豊碕宮(ながらとよさきのみや)が完成）に移す。

☆**中大兄皇子は皇太子，中臣鎌足は内臣**(うちつおみ)**，高向玄理・旻は国博士**(くにのはかせ)となる。

☆大臣・大連を廃止して阿倍内麻呂(あべのうちのまろ)を左大臣，蘇我倉山田石川麻呂を右大臣とする。

い　**「改新の詔(みことのり)」（646年）⇒４カ条**

1　**公地公民制**の原則。有力豪族には**食封**(じきふ)を，その他には布帛(ふはく)を支給。

2　地方行政組織，軍事・交通制度の整備。

3　戸籍・計帳(けいちょう)の作成，班田収授法(はんでんしゅうじゅのほう)。

4　統一的な新しい税制の規定。

う　**東北への進出**

647年　孝徳天皇，越後国(えちごのくに)に**渟足柵**(ぬたりのき)を設置。

648年　孝徳天皇，越後国に**磐舟柵**(いわふねのき)を設置。

658年　斉明(さいめい)天皇，**阿倍比羅夫**(あべのひらふ)に**蝦夷**と交渉させる。

③外政の失敗―白村江の敗戦―

A　孝徳天皇の死（654年）

翌年，皇極太上天皇が**重祚**し，**斉明天皇**として即位。飛鳥に大王宮を戻す。

B　有間皇子の死（658年）

孝徳天皇の皇子を謀反の罪で処刑。

C　**百済の滅亡**と倭の対応⇒朝鮮半島では，**新羅が唐と結び**統一に乗り出す。

660年　唐・新羅連合により**百済が滅亡**。

661年　斉明天皇，旧百済救援に向かう途中，九州で死去。

☆中大兄皇子は即位式を挙げず政務を執行（＝**称制**）。

663年　白村江の戦い

☆倭・旧百済連合が**唐・新羅連合に大敗**，倭は朝鮮半島から完全に撤退。

D　**国防の強化**

対馬・壱岐や九州北部に**防人**・烽〔烽火〕，大宰府北西に**水城**を設置。西日本各地に**朝鮮式山城**（**大野城**や基肄城〔筑前国〕・高安城〔大和国〕など）を築造。

☆665年には遣唐使も派遣。

E　**新羅の朝鮮半島統一**

668年　唐・新羅連合により高句麗が滅亡。

676年　**新羅が唐の勢力を追放し朝鮮半島を統一。**

☆このころから唐との対立のため新羅が倭に形式的に朝貢。

④内政の充実―天智天皇の政治―

急速な大王への権力集中は，豪族たちに深刻な不安をもたらした。

664年　甲子の宣

☆冠位二十六階制への移行，民部・家部とよぶ私有民を許可。

667年　**近江大津宮**へ遷都

668年　中大兄皇子が**天智天皇**として即位。

初の令として**近江令**を制定？

669年　中臣鎌足死去

☆臨終に際し**藤原**姓と大織冠を授かる。

670年　庚午年籍の作成

☆**最初の全国的戸籍，氏姓を正す根本台帳として永久保存が義務付けられる。**

☆徴税・徴兵は行いやすくなったが，公地公民が徹底していない時期だったため，地方豪族の不満は高まった。

⑤中央集権国家「日本」の成立

A　**壬申(じんしん)の乱(672年)**

天智天皇の死後，**大海人皇子**(おおあまのおうじ)(**弟**，吉野軍)と**大友皇子**(おおとものおうじ)(**子**，近江朝廷軍)が**皇位を争い**，東国の中小豪族の協力を得て軍事動員に成功した大海人皇子が勝利。

☆大伴氏(おおともし)などを除く多くの大豪族が没落，大王の権威(けんい)が高揚(こうよう)。

B　**天武(てんむ)天皇**の政治⇒翌年**飛鳥浄御原宮**(あすかきよみはらのみや)で即位，「**天皇**」号の使用開始。

皇后・皇子〔親王〕を登用し**皇親政治**を展開。**歴史書の編纂を始め**，**富本銭**(ふほんせん)の鋳造(ちゅうぞう)も行うが，**遣唐使派遣は中断**。

675年　豪族の私有民を廃止

681年～　**飛鳥浄御原令**(あすかきよみはらりょう)**の編纂開始**

684年　**八色**(やくさ)**の姓**(かばね)を制定

☆**真人**(まひと)・**朝臣**(あそみ)・**宿禰**(すくね)・忌寸(いみき)・道師(みちのし)・臣・連・稲置(いなぎ)

685年　冠位48階制への移行

C　**持統天皇**(天武天皇の皇后)の政治⇒称制ののち即位，高市皇子(たけちのみこ)が補佐。

686年　大津皇子の死

☆皇太子〔東宮(とうぐう)〕草壁(くさかべ)皇子の地位を守るため，自害に追い込まれる。

689年　**飛鳥浄御原令の施行**(しこう)

690年　**庚寅年籍**(こういんねんじゃく)の作成

☆６年＝１比(ひ)として５比30年間保存，**班田収授法**(はんでんしゅうじゅのほう)が確立。

694年　**藤原京遷都**(せんと)**⇒中国の都城制**(とじょうせい)**を模倣**(もほう)した，初の本格的宮都(きゅうと)。

☆畝傍山(うねびやま)・耳成山(みみなしやま)・天香具山(あまのかぐやま)の大和三山(やまとさんざん)を内包(ないほう)する，わが国最大の宮都。

☆藤原京跡からは大量の**木簡**(もっかん)が出土し，**郡評論争**(ぐんぴょう)に決着。

D　**文武**(もんむ)**天皇**(天武・持統天皇の孫，草壁皇子の子)の政治

701年　**大宝律令**(たいほうりつりょう)**の制定**

☆**刑部親王**(おさかべしんのう)**・藤原不比等**(ふひと)が編纂した**初の律令**。

702年　遣唐使派遣の再開

２　飛鳥文化（７世紀前半）

①飛鳥文化の特色

A　大和国(やまとのくに)の皇族(こうぞく)・豪族が担(にな)う，**わが国初の仏教文化**である。

B　**中国の南北朝文化**や朝鮮半島の百済・高句麗の文化の**影響が大きい。**

C　ギリシア・ローマ・ペルシア・インドなどの影響も受け，**世界性に富む**。

☆**エンタシスの柱（法隆寺）**，**忍冬唐草文様(にんどうからくさもんよう)**，**獅子狩文様(ししかりもんよう)**など。

---

②寺院建築（礎石(そせき)建築の採用）

伽藍(がらん)配置は，**飛鳥寺(あすかでら)式⇒四天王寺(してんのうじ)式⇒法隆寺(ほうりゅうじ)式⇒薬師寺(やくしじ)式⇒東大寺(とうだいじ)式⇒大安寺(だいあんじ)式**と変遷(へんせん)。

A　**飛鳥寺〔法興寺(ほうこうじ)〕**（大和国，**蘇我馬子が建立(こんりゅう)**）

初の本格的寺院。のち平城京に移築され元興寺(がんごうじ)となる。

B　**斑鳩寺(いかるがでら)〔法隆寺〕**（大和国，**聖徳太子が建立**）

西院(さいいん)伽藍（金堂(こんどう)・五重塔(ごじゅうのとう)・中門(ちゅうもん)・歩廊(ほろう)）は，**現存する世界最古の木造(もくぞう)建築**。

☆670年焼失という『日本書紀』の記述をめぐる法隆寺再建(さいこん)論争が展開されるが，**若草(わかくさ)伽藍跡**の発掘（1939年）により，再建説が有力。

☆**四天王寺（摂津国）**，中宮寺(ちゅうぐうじ)（大和国）も聖徳太子の建立。

C　太秦寺(うずまさでら)〔広隆寺(こうりゅうじ)〕（山背国(やましろのくに)，秦河勝(はたのかわかつ)が建立）

D　百済大寺(くだらおおでら)（大和国，舒明(じょめい)天皇が建立）

のち高市(たけち)大寺→藤原京の大官大寺(だいかんだいじ)→平城京の大安寺(だいあんじ)となる。

---

③仏像彫刻（飛鳥仏）

中国の雲崗石仏・竜門石仏の影響。アルカイックスマイル〔古拙の微笑〕を浮かべる。

A　**北魏様式**

力強く端正で硬い表現，左右対称の幾何学的な衣文。

あ　**飛鳥寺釈迦如来像〔飛鳥大仏〕**

☆**鞍作鳥〔止利仏師〕**の作，**わが国最古の仏像**。

い　**法隆寺金堂釈迦三尊像**

☆**鞍作鳥**の作。

う　**法隆寺夢殿救世観音像**

☆明治時代に**アメリカ人フェノロサ**と岡倉天心が解明。

B　**南梁様式**

柔和で丸みのある写実的表現，自然な変化のある衣文。

あ　**法隆寺百済観音像**

い　**中宮寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕**

う　**広隆寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕**

---

④工芸

A　**法隆寺玉虫厨子**

須弥座絵・扉絵は，古墳壁画を除くわが国最古の絵画。

B　**法隆寺獅子狩文様錦**

C　法隆寺竜首水瓶

D　法隆寺伎楽面

E　**中宮寺天寿国繍帳**

聖徳太子の妃の一人であった橘大郎女が，采女たちに作らせたもの。

---

⑤学問

A　**三経義疏**

聖徳太子が著した仏教経典（法華経・勝鬘経・維摩経）の注釈書。

B『**天皇記**』『**国記**』(620年)

聖徳太子と蘇我馬子が共同で編纂した歴史書，645年に消失？

---

⑥渡来僧の活躍

百済の観勒が**暦法・天文地理**を，**高句麗の曇徴**が**紙・墨・絵の具の製法**を伝える。

※高句麗僧の恵慈は聖徳太子の師。

３　白鳳(はくほう)文化（７世紀後半）

①白鳳文化の特色

A　大和国の皇族・豪族が担(にな)う仏教文化である。

B　新羅や遣唐使を介した**初唐(しょとう)文化の影響が強い**が，西アジア・インド・高句麗の影響などもみられる。

C　**律令国家の建設期を反映した，明るく清新(せいしん)な文化**である。

---

②国家仏教の成立（朝廷による仏教の保護・統制）

飛鳥四大寺（**大官大寺(だいかんだいじ)**，飛鳥寺〔法興寺〕，川原寺(かわらでら)〔弘福寺(ぐふくじ)〕，**薬師寺**）などの**官大寺(かんだいじ)〔官寺(かんじ)〕**が設置され，僧綱制(そうごうせい)や僧尼令(そうにりょう)による統制も進む。

☆地方豪族も競って寺院を建立した。

☆伊勢神宮を中心とする神祇制度の整備も同時に行われた。

---

③寺院建築

A　**薬師寺東塔(とうとう)**⇒裳階(もこし)つきの三重塔(さんじゅうのとう)

アメリカ人フェノロサにより，「凍(こお)れる音楽」と称(たた)えられる。

B　山田寺(やまだでら)回廊

山田寺は蘇我倉山田石川麻呂の発願により建立。わが国最古の木造建築遺構(いこう)。

---

④仏像彫刻

A　**興福寺仏頭(ぶっとう)〔もと山田寺本尊〕**

B　**薬師寺金堂(こんどう)薬師三尊像**

C　**薬師寺東院堂聖観音像(とういんどうしょうかんのん)**

D　**法隆寺阿弥陀三尊像**〔橘夫人念持仏(たちばなぶにんねんじぶつ)〕

E　法隆寺夢違(ゆめたがい)観音像

---

⑤絵画

A　**法隆寺金堂壁画**(1949年焼損)

アジャンター石窟(せっくつ)壁画(インド)や敦煌(とんこう)石窟壁画(中国)に類似(るいじ)。その焼損は**文化財保護法制定**(1950年)の契機となる。

B　**高松塚古墳壁画**(1972年発見)

高句麗の古墳壁画に類似。天文図(てんもんず)〔星宿(せいしゅく)〕・男性群像・**女性群像**・四神(しじん)〔東＝青竜(せいりゅう)，西＝白虎(びゃっこ)，南＝朱雀(すざく)，北＝玄武(げんぶ)〕などが描かれるが，朱雀は現存せず。

☆カビが発生するなど劣化(れっか)が進み，石室が解体され壁画を修復。

C　**キトラ古墳壁画**

ファイバースコープを用いた石室内の調査により，天文図・十二支の獣頭人身図・四神などの壁画が発見される。

☆劣化が進み，石室内の壁画をはぎ取り修復。

D　上淀廃寺(かみよどはいじ)金堂壁画(伯耆国(ほうきのくに))

---

⑥文学

A　漢詩(かんし)〔からうた〕　⇒皇族・貴族による中国的素養の受容

大友皇子･大津皇子らの作品が，奈良時代の漢詩集『懐風藻(かいふうそう)』に収録される。

B　和歌(わか)〔やまとうた〕⇒このころ形式を整える

有間皇子・**額田王**(ぬかたのおおきみ)・**柿本人麻呂**(かきのもとのひとまろ)らの作品が，奈良時代の歌集『万葉集』に収録される。

第３講　確認テスト

1　聖徳太子〔厩戸皇子〕が建立した寺院としてふさわしくないものを選べ。

①法興寺〔飛鳥寺〕　②四天王寺　③法隆寺〔斑鳩寺〕　④中宮寺

2　聖徳太子が蘇我馬子と共同で編纂した歴史書とは？

①『帝紀』『旧辞』　②『天皇記』『国記』　③『古事記』　④『日本書紀』

3　630年，初めての遣唐使として舒明天皇が派遣した人物とは？

①小野妹子　②高向玄理　③旻　④犬上御田鍬

4　646年に「改新の詔」を発した大王〔天皇〕とは？

①皇極天皇　②孝徳天皇　③斉明天皇　④天智天皇

5　676年に朝鮮半島を統一した国家とは？

①高句麗　②新羅　③百済　④高麗

6　中大兄皇子が天智天皇として即位した宮とは？

①斑鳩宮　②難波長柄豊碕宮　③近江大津宮　④飛鳥浄御原宮

7　672年に起きた古代最大の内乱とは？

①磐井の乱　②白村江の戦い　③壬申の乱　④藤原広嗣の乱

8　694年，わが国初の本格的宮都である藤原京に遷都した女帝とは？

①斉明天皇　②持統天皇　③元明天皇　④元正天皇

9　明治時代にアメリカ人フェノロサが解明した秘仏とは？

①法隆寺金堂釈迦三尊像　②法隆寺夢殿救世観音像
③法隆寺百済観音像　④中宮寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕

10　紙・墨・絵の具の製法を伝えた高句麗僧とは？

①観勒　②曇徴　③恵慈　④行基

11　次のうち，白鳳文化に属さない仏像を一つ選べ。

①広隆寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕　②興福寺仏頭〔もと山田寺本尊〕
③薬師寺金堂薬師三尊像　④法隆寺阿弥陀三尊像〔橘夫人念持仏〕

12　1972年に発見され，女性群像の壁画が話題となった装飾古墳とは？

①高松塚古墳　②キトラ古墳　③竹原古墳　④藤ノ木古墳

解答

1	①	2	②	3	④	4	②	5	②
6	③	7	③	8	②	9	②	10	②
11	①	12	①						